

## 19週 聖霊の有効召命

**質問 31.** 有効召命とは何ですか。

**答え I** 有効召命とは、私たちの罪と悲惨さを悟らせて、私たちの心を照らしキリストを知るように、私たちの意志を更新させる聖霊の御業です。聖霊は、私たちを説得し、福音において値なしにくださるイエス・キリストをつかむようにさせます。

**質問 32.** 有効に召された人は、この世において、どのような恩恵にあずかるのですか。

**答え I** 有効に召される人は、この世において、義認、子となる、聖化を得それらに伴い、さまざまな恩恵にあずかります。

### 解説

#### 外的な召し

多くの人が、福音の働き人を通して福音について聞きます。このように、福音が証しされる中で召されるのを「外的召命」と言います。

しかし、このような召しにも関わらず、信じる者はその数は少ないです（マタイ 22:14）。なぜなら、多くの人々は福音を理解する事ができずに、イエスさまがなぜ必要なのかを実際的に悟れないからです（マタイ 13:11-13）。従って、信じるためには、このような外的召しの手段の上に、必ず、聖霊の御業がなくてはならないです。外的手段の上に、聖霊の有効な御業があった時、神の銀のラッパの声を聞くようになり、ついに、キリストの必要性と大切さを知るようになります。

### **召命と呼ばれる理由**

召命と呼ばれる理由は、彼らを罪から、そして、無知と不信仰から召し出すことだからです（I ペテロ 1:4）。私たちは本質上、闇の中に閉じ込められています。従って、私たちが暗闇から光に呼び出してくださり、危険から召し出してくださるのです。

これはまるで、御使いが、ロトをソドムとゴモラの地から呼び出すために行かれたことと同じです。神の審判がある前に、先にご自分の民を審判の場所から呼び出し、審判から免れるようになさいます。また神は、私たちがこの世から呼び出します。それで、私たちはこの世に生きてはいますが、この世に属さないで天に属しているのです。

このように神は、私たちが罪と審判とこの世から召し出します。そして聖なところに呼び出し、神の民の中にいるようにさせます。

### **有効召命の要素など**

有効召命は、ただ聖霊の御業ですが、これは、私たちの心と意志に起こされることです。聖霊は先ず、私たちに罪を悟らせて、その罪に対する神の審判があることを知らせ（ヨハネ 16:8）、私たちの罪を具体的に、そして確かに知るようにさせ、それによる神の怒りが嚴重であることを知るようにさせます。この時の良心は、重く押され「どうすれば救われますか」と叫びがあるようになります。特に聖霊は、律法を持って私たちに罪を悟らせます（ロマ 3:20、7:7）。

このように聖霊は、罪を悟らせた後に、私たちの心を照らし、キリストを知るようにされます。つまり、霊的な目を開かせて福音が提示している、キリストについて知るようにされます（使徒 26:17-18）。そして、聖霊の有効召命の中で、私たちの意志を更新させてキリストをつかむようにされます（エゼキエル 36:26）。意志が新たにされる前には、キリストをつかまないけれど、更新されたら喜んでキリストに走って行けるようにさせるのです。

### 有効召命の原因

神がこのように私たちを召し出されたのは、選びがあったからです。これは、救いの恵みが完全に神から来ていることを証ししています。私たちには、救いを得るほどのどんな功労や業績もないが、ただ、神の選びがあったから召命を受けるのです。

### 有効召命の効果

聖霊の有効な御業によって悔い改めと信仰が生じます（エペソ 2:8）。この時、信仰は道具となってキリストをつかむようにさせます。つまり、聖霊の御業によって罪を悟り、罪の赦しを必要とする状態で、福音に啓示されたキリストの中に罪の赦しがあるのを知るようになります（ヨハネ 3:18）。それで、罪の赦しと自分の不義を覆うためにキリストに行くのです（ヨハネ 6:37）。この時、

キリストに行くこと、キリストをつかむことを「信仰」と呼びます。このように罪人に、聖霊が有効に働かれることによって、悔い改めとキリストを必要とする信仰が起きるようになるのです。

## 信仰の効果

聖霊の有効な御業によって発生された信仰を持って、キリストをつかむようになれば、キリストと結合されます。つまり、信仰によってキリストと結び合わされるのです（ロマ6:3）。このようにキリストに結合されれば、キリストにあって神が用意してくださった恩恵を味わうようになります。父なる神がキリストにあって用意してくださった恩恵は、義認、子となる、聖化、そしてそれらに伴い、同伴される有益です。

## キリストの中にある恩恵

信仰によって、キリストに結合されれば、味わえる恩恵として、先ず、義認があります。義認は罪の赦しと義と認められることです。罪の赦しだけでなく義と認められるので、これからは、父なる神に大胆に出て行くことができます。義と認められたとは、天の法廷で、良心に宣言されることだからです。

もう一つの恩恵は、子となることです。それゆえ、その靈魂は神に向かって「アバ・父」と呼び、自分の救いについて確信を持つようになります（ロマ8:15）。このように義認と子となることは、キリストの中にある恩恵として身分的に現れます。

キリストの中にある恩恵の中に、実際的な生活の中で変化をもたらすものがありますが、それは聖化です。義と認められたものは聖なる生活を生きることができ、また生きなければならないのです。キリストの中に聖くさせる恩恵があるので、続けてこの恵みが必要で、最も、聖なる生活として変化が起きるのです。

これらに伴い、実際的な生活の変化を得る恩恵は、神の愛に対する確信と良心の平和です。聖霊によって楽しむことと、恵みが続けて増加される恩恵も味わいます。そして何よりも、最後まで私たちを牽引してくださる恵みがあるのです（ピリピ1:6）。

### **恩恵は分離することができない**

信仰によって、キリストに結び合わされているから、このような四つの恩恵を同時に味わうことができます。前の二つは身分的なものであり、後ろの二つは実際的な生活の変化に必要な恩恵です。従って、前の二つの身分的な変化の恩恵を得たのなら、必ず、実際的な生活の変化である、後ろの二つの恩恵もついて来るべきです。もし、ある人が義と認められたというのに、聖なる生活もなく、牽引の生活がないのなら、まだ、義認は起きていないのです。

四つの恩恵は区別されますが、分離されずに、互いに連結されます。キリストの中にある恩恵のおかげで、義認が起きたなら、必ず、実際的な生活の変化という恩恵もあるべきです。従って、有効召命の効果として四つの恩恵を得るようにさせますが、これは、この地での生活において、はっきりと生活の変化として現れるようになるのです。